

# NUTEC

優れた性能を追求し続ける  
オイルメーカー



©ニューテックジャパン ☎045・628・2055 <URL>http://www.nutec-japan.com

ニューテックがこの世に出て約10年が経過した。そう聞くと歴史の浅い新興メーカーだと思われるかもしれないが、その立ち上げには大手メーカーにはマネのできない精鋭プロフェッショナルが集い、妥協を一切排除して製品作りを行っている。歴史は浅くとも、最先端技術を知り尽くしたエンジニアによって作られたオイルメーカーなのである。元々レースの世

界で知り合ったメンバーによって、レースを闘う上で必要な専用ガソリンの提供をはじめたことからスタート。そのガソリンはF-1や2輪WGPといったトップシーンで活躍。その後時代背景の移り変わりと共に、レースガスだけではビジネスが立ちゆかなくなったのだが、そこで同時に豊富なノウハウを活かしたエンジンオイル作りが始まったのである。

ニューテックのエンジンオイル作りは、ベースオイルを吟味して超微粒子テクノロジーとそれによる低フリクション化、高い油膜保持力、高シール性という基本ベースがある。またレース用としてスペシャルオイルを作らないとのこと。必要に応じ市販設定にない粘度のオイルを用意することはあっても、それはいわゆるブレンドによるもの。あくまでベースはレース用とストリート用が原則として同じオイルなのだ。それを支えるのがオイルのプロによる科学技術と、クルマ開発のプロによる自動車技術の融合にある。両方のスペシャリストが集まり、大メーカーよりもフットワークの良い中小企業のメリットを活かし、こだわりの開発を具現化することができるのだ。

同社の商品ラインアップはエンジンオイルにギアオイル、ATFにブレーキフルード、そして各種添加剤にケミカル品とクルマに必要な油脂類の大半をカバー。走りにこだわるBMWユーザーに、ぜひ試して欲しいブランドである。

ニューテック・インターセプターの基本コンセプトをイメージ化したデータだ。超微粒子化により強靱な油膜保持力を誇り、フリクションを低下させることでエンジン性能を極限まで引き出す



ニューテックジャパン代表取締役の鳩谷和春氏。エンジン設計者としての経歴を持ち、理想的な燃料やオイルとエンジニアリングの相性を知り尽くしているスペシャリスト。また様々なレース経験の豊富さが、ダイレクトに製品作りへと反映されている

